

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ高格付豪ドル債マザーファンドの受益証券
	ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	内外の公社債、ABS（アセットバック証券：各種の債権や商業用不動産などの資産を裏付けとして発行された証券）、MBS（モーゲージ担保証券：不動産担保融資の債権を裏付けとして発行された証券）および短期金融商品
マザーファンドの運用方法	<p>①主として豪ドル建ての公社債、ABS、MBSなど（以下「公社債等」といいます。）およびコマース・ペーパー等の短期金融商品に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②豪ドル建ての公社債等への投資にあたっては、以下の観点からポートフォリオを構築し、運用を行ないます。</p> <p>イ. 各銘柄の格付けは、取得時においてAA格相当以上（S&PでAA-以上またはムーディーズでAa3以上もしくはフィッチでAA-以上）とすることを基本とします。</p> <p>ロ. 取得後、格付けの低下によってAA格相当以上でなくなった場合、委託会社の判断により当該銘柄を保有することもできますが、その範囲は、信託財産の純資産総額の10%程度を上限とします。</p> <p>ハ. 政府・州およびそれらの代理機関、国際機関等が発行・保証する公社債等を除き、一発行体当りの投資比率は、信託財産の純資産総額の10%程度を上限とします。</p> <p>ニ. ポートフォリオの修正デュレーションは、3（年）程度から5（年）程度の範囲とすることを基本とします。</p> <p>ホ. 金利リスク調整のため、豪ドル建ての国債先物取引等を利用することがあります。</p> <p>③為替については、豪ドル建資産の投資比率を信託財産の純資産総額の100%に近づけることを基本とします。</p> <p>④有価証券取引、為替・短期資金取引の相手方の選定は、委託会社の社内規則に則って行ないます。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことを目標に分配金額を決定します。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ高格付豪ドル債オープン （毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第150期（決算日	2015年5月15日）
第151期（決算日	2015年6月15日）
第152期（決算日	2015年7月15日）
第153期（決算日	2015年8月17日）
第154期（決算日	2015年9月15日）
第155期（決算日	2015年10月15日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ高格付豪ドル債オープン（毎月分配型）」は、このたび、第155期の決算を行ないました。

ここに、第150期～第155期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

ダイワ高格付豪ドル債オープン（毎月分配型）

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			シティオーストラリア国債インデックス (参考指数)	アラビア国債 (円換算) 騰落率	公社債 組入比率	債券 先物比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率					
126期末(2013年5月15日)	円 12,045	円 80	% △ 1.4	28,314	% △ 1.6	% 96.4	% -	百万円 14,381
127期末(2013年6月17日)	10,725	80	△10.3	25,430	△10.2	98.4	-	12,684
128期末(2013年7月16日)	10,583	80	△ 0.6	25,245	△ 0.7	97.4	-	12,542
129期末(2013年8月15日)	10,330	80	△ 1.6	24,774	△ 1.9	97.2	-	12,238
130期末(2013年9月17日)	10,499	80	2.4	25,357	2.4	95.8	-	12,377
131期末(2013年10月15日)	10,595	80	1.7	25,814	1.8	96.1	-	12,452
132期末(2013年11月15日)	10,515	80	0.0	25,685	△ 0.5	78.9	-	12,030
133期末(2013年12月16日)	10,344	80	△ 0.9	25,396	△ 1.1	96.2	-	11,715
134期末(2014年1月15日)	10,442	80	1.7	25,892	2.0	94.2	-	11,938
135期末(2014年2月17日)	10,230	80	△ 1.3	25,587	△ 1.2	94.2	-	11,986
136期末(2014年3月17日)	10,180	80	0.3	25,635	0.2	96.3	-	12,088
137期末(2014年4月15日)	10,642	80	5.3	27,054	5.5	97.2	-	12,616
138期末(2014年5月15日)	10,579	80	0.2	27,185	0.5	97.6	-	12,647
139期末(2014年6月16日)	10,576	80	0.7	27,393	0.8	96.6	-	12,848
140期末(2014年7月15日)	10,592	80	0.9	27,865	1.7	96.9	-	12,956
141期末(2014年8月15日)	10,551	80	0.4	28,027	0.6	96.7	-	13,023
142期末(2014年9月16日)	10,530	80	0.6	28,107	0.3	95.6	-	13,037
143期末(2014年10月15日)	10,197	80	△ 2.4	27,609	△ 1.8	96.7	△13.3	12,687
144期末(2014年11月17日)	11,066	80	9.3	30,250	9.6	95.3	4.5	13,820
145期末(2014年12月15日)	10,663	80	△ 2.9	29,655	△ 2.0	96.4	△ 4.7	13,295
146期末(2015年1月15日)	10,628	80	0.4	30,041	1.3	96.4	△16.0	13,198
147期末(2015年2月16日)	10,129	80	△ 3.9	28,920	△ 3.7	96.5	△17.0	12,677
148期末(2015年3月16日)	10,080	80	0.3	29,014	0.3	97.1	△15.6	12,895
149期末(2015年4月15日)	9,917	80	△ 0.8	28,931	△ 0.3	95.5	16.0	12,767
150期末(2015年5月15日)	10,142	80	3.1	29,555	2.2	96.6	13.3	13,172
151期末(2015年6月15日)	9,991	80	△ 0.7	29,345	△ 0.7	97.2	△ 4.8	13,120
152期末(2015年7月15日)	9,592	80	△ 3.2	28,408	△ 3.2	97.1	△ 4.8	12,694
153期末(2015年8月17日)	9,559	80	0.5	28,680	1.0	96.7	△ 5.0	12,643
154期末(2015年9月15日)	8,962	80	△ 5.4	27,196	△ 5.2	97.1	△ 5.6	11,861
155期末(2015年10月15日)	8,996	80	1.3	27,626	1.6	97.1	△11.4	11,902

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) シティオーストラリア国債インデックス（円換算）は、シティオーストラリア国債インデックス（豪ドルベース）のデータに基づき、円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

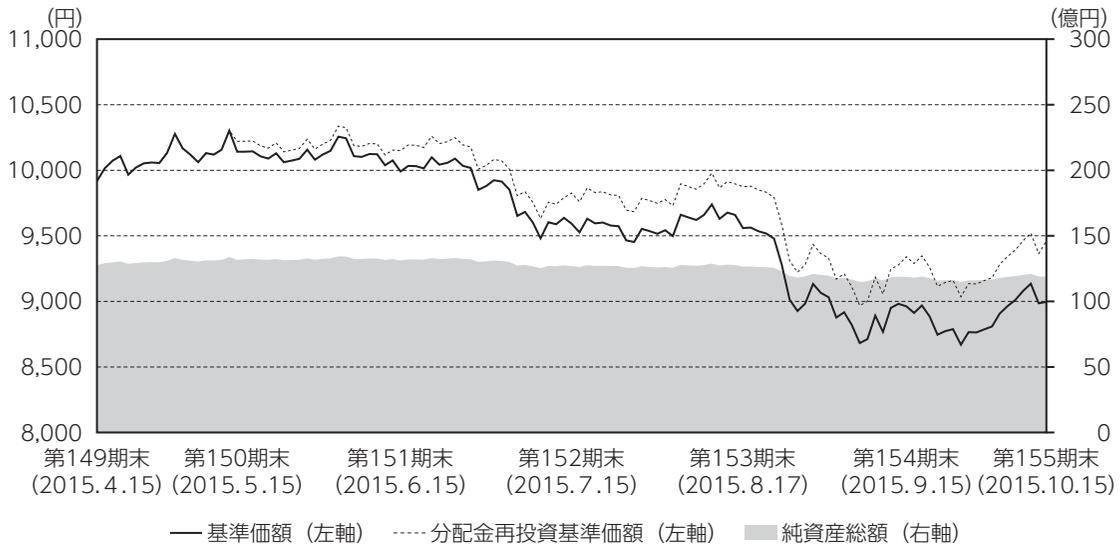
(注4) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

(注6) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■ 基準価額・騰落率

第150期首：9,917円

第155期末：8,996円（既払分配金480円）

騰落率：△4.6%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

投資している豪ドルが円に対して下落したことが、基準価額の値下がり要因になりました。一方、投資している債券の利息収入は、基準価額の値下がりを抑える要因になりました。

ダイワ高格付豪ドル債オープン（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		シティオーストラリア国債 インデックス (円換算)		公 社 債 率 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第150期	(期首) 2015年 4 月15日	円 9,917	% -	28,931	% -	% 95.5	% 16.0
	4月末	10,278	3.6	29,891	3.3	96.8	16.8
	(期末) 2015年 5 月15日	10,222	3.1	29,555	2.2	96.6	13.3
第151期	(期首) 2015年 5 月15日	10,142	-	29,555	-	96.6	13.3
	5月末	10,081	△0.6	29,509	△0.2	97.1	12.7
	(期末) 2015年 6 月15日	10,071	△0.7	29,345	△0.7	97.2	△ 4.8
第152期	(期首) 2015年 6 月15日	9,991	-	29,345	-	97.2	△ 4.8
	6月末	9,880	△1.1	29,058	△1.0	97.6	△ 4.8
	(期末) 2015年 7 月15日	9,672	△3.2	28,408	△3.2	97.1	△ 4.8
第153期	(期首) 2015年 7 月15日	9,592	-	28,408	-	97.1	△ 4.8
	7月末	9,516	△0.8	28,261	△0.5	97.0	△ 2.5
	(期末) 2015年 8 月17日	9,639	0.5	28,680	1.0	96.7	△ 5.0
第154期	(期首) 2015年 8 月17日	9,559	-	28,680	-	96.7	△ 5.0
	8月末	9,066	△5.2	27,221	△5.1	96.5	-
	(期末) 2015年 9 月15日	9,042	△5.4	27,196	△5.2	97.1	△ 5.6
第155期	(期首) 2015年 9 月15日	8,962	-	27,196	-	97.1	△ 5.6
	9月末	8,765	△2.2	26,656	△2.0	97.1	-
	(期末) 2015年10月15日	9,076	1.3	27,626	1.6	97.1	△11.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について**○オーストラリア債券市況**

オーストラリア債券市況は金利上昇（債券価格は下落）しました。

第150期首から2015年5月にかけてのオーストラリア債券市況は、米国の景気回復見通しの高まりやギリシャ情勢の緊張緩和から欧米の債券金利が上昇し、オーストラリアでも好調な雇用や高水準のインフレ指標が見られたこともあって、大きく金利上昇しました。しかしその後は、ギリシャ情勢懸念の再燃、米国の利上げに対する不透明感、新興国景気の先行き懸念、オーストラリアの利下げ観測などを背景に、金利は低下基調となりました。9月以降は、リスク資産が反発したことなどを背景に、金利も再度上昇しました。この間、オーストラリアでは5月に利下げが行なわれ、政策金利は2.00%となりました。

○為替相場

豪ドルは対円で下落しました。

第150期首から2015年5月にかけて、中国の金融緩和措置を受けてアジア株式市況が堅調に推移する中、アジア各国の貿易相手であるオーストラリアには好材料と捉えられ、豪ドルは対円で底堅い動きとなりました。しかし6月下旬以降は、ギリシャ情勢懸念の再燃、原油や株式市況の下落、新興国景気の先行き懸念などを背景に、資本市場のリスク投資姿勢が消極化し、資源輸出国通貨売りもあって、豪ドルは対円で下落しました。9月以降は、リスク資産が反発したことなどを背景に、豪ドルも上昇基調となりました。

前作成期間末における「今後の運用方針」**○当ファンド**

主として「ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド」の受益証券に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。

○ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

豪ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの現状分析とそれらの見通しおよび金融市場動向を踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させ、債券の種別構成や投資する債券の年限構成を決定します。為替については、豪ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド」の受益証券に投資することを通して豪ドル建公社債等を組入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。

○ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

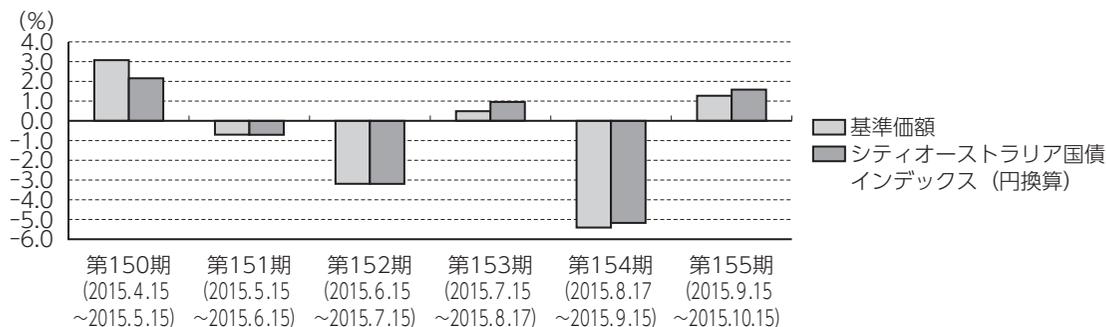
豪ドル建ての公社債等を高位に組入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。金利変動リスクを表す修正デュレーションについては、3（年）程度から5（年）程度の範囲内で運用しました。金利が低下するとの見通しが強まった局面では、修正デュレーションを長期化した一方、金利が上昇するとの見通しが強まった局面では短期化するなど、経済動向や市場環境等を考慮して対応を行ないました。

為替に関しては、実質外貨比率を高位に保ちました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

第150期から第155期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ80円といたしました。
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第150期	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期
	2015年4月16日 ～2015年5月15日	2015年5月16日 ～2015年6月15日	2015年6月16日 ～2015年7月15日	2015年7月16日 ～2015年8月17日	2015年8月18日 ～2015年9月15日	2015年9月16日 ～2015年10月15日
当期分配金（税込み）（円）	80	80	80	80	80	80
対基準価額比率（％）	0.78	0.79	0.83	0.83	0.88	0.88
当期の収益（円）	36	27	26	31	22	29
当期の収益以外（円）	43	52	53	48	57	50
翌期繰越分配対象額（円）	2,632	2,580	2,527	2,478	2,420	2,370

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第150期	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期
(a) 経費控除後の配当等収益	36.70円	27.35円	26.69円	31.51円	22.03円	29.87円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,203.95	1,223.26	1,240.99	1,249.18	1,256.01	1,260.54
(d) 分配準備積立金	1,472.03	1,409.56	1,339.31	1,277.90	1,222.62	1,160.16
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	2,712.70	2,660.18	2,607.01	2,558.59	2,500.68	2,450.59
(f) 分配金	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	2,632.70	2,580.18	2,527.01	2,478.59	2,420.68	2,370.59

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

主として「ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド」の受益証券に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。

○ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

豪ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの現状分析とそれらの見通しおよび金融市場動向を踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3（年）程度から5（年）程度の範囲内で変動させ、債券の種別構成や投資する債券の年限構成を決定します。為替については、豪ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第150期～第155期		項 目 の 概 要
	(2015.4.16～2015.10.15)		
	金 額	比 率	
信託報酬	65円	0.675%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,600円です。
（投信会社）	(26)	(0.270)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(36)	(0.378)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(3)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	1	0.007	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物）	(1)	(0.007)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	2	0.023	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.019)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	68	0.704	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ高格付豪ドル債オープン（毎月分配型）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2015年4月16日から2015年10月15日まで)

決算期	第150期～第155期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	134,106	380,000	252,075	690,000

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第150期～第155期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第149期末	第155期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	4,583,381	4,465,411	11,873,976

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年5月15日)、(2015年6月15日)、(2015年7月15日)、(2015年8月17日)、(2015年9月15日)、(2015年10月15日)現在

項目	第150期末	第151期末	第152期末	第153期末	第154期末	第155期末
(A) 資産	13,294,211,672円	13,243,392,751円	12,817,165,492円	12,767,868,387円	11,981,866,188円	12,031,037,427円
コール・ローン等	94,926,787	72,205,071	71,546,024	55,315,554	51,994,098	57,060,876
ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド(評価額)	13,099,284,885	13,061,187,680	12,645,619,468	12,602,552,833	11,809,872,090	11,873,976,551
未収入金	100,000,000	110,000,000	100,000,000	110,000,000	120,000,000	100,000,000
(B) 負債	121,912,031	122,827,208	122,774,629	124,217,804	119,909,587	128,421,135
未払収益分配金	103,902,933	105,060,810	105,869,580	105,815,852	105,891,205	105,849,928
未払解約金	3,466,765	2,463,638	2,225,335	2,583,366	718,230	9,031,037
未払信託報酬	14,455,611	15,125,300	14,415,778	15,461,891	12,866,277	13,028,138
その他未払費用	86,722	177,460	263,936	356,695	433,875	512,032
(C) 純資産総額(A-B)	13,172,299,641	13,120,565,543	12,694,390,863	12,643,650,583	11,861,956,601	11,902,616,292
元本	12,987,866,719	13,132,601,258	13,233,697,576	13,226,981,550	13,236,400,743	13,231,241,077
次期繰越損益金	184,432,922	△ 12,035,715	△ 539,306,713	△ 583,330,967	△ 1,374,444,142	△ 1,328,624,785
(D) 受益権総口数	12,987,866,719□	13,132,601,258□	13,233,697,576□	13,226,981,550□	13,236,400,743□	13,231,241,077□
1万口当り基準価額(C/D)	10,142円	9,991円	9,592円	9,559円	8,962円	8,996円

*第149期末における元本額は12,874,824,440円、当作成期間（第150期～第155期）中における追加設定元本額は700,007,310円、同解約元本額は343,590,673円です。

*第155期末の計算口数当りの純資産額は8,996円です。

*第155期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,328,624,785円です。

■投資信託財産の構成

2015年10月15日現在

項目	第155期末	比率
	評価額	%
	千円	%
ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド	11,873,976	98.7
コール・ローン等、その他	157,060	1.3
投資信託財産総額	12,031,037	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月15日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=87.03円です。

(注3) ダイワ高格付豪ドル債マザーファンドにおいて、第155期末における外貨建純資産（22,085,185千円）の投資信託財産総額（22,240,792千円）に対する比率は、99.3%です。

■損益の状況

第150期 自2015年4月16日 至2015年5月15日 第153期 自2015年7月16日 至2015年8月17日
 第151期 自2015年5月16日 至2015年6月15日 第154期 自2015年8月18日 至2015年9月15日
 第152期 自2015年6月16日 至2015年7月15日 第155期 自2015年9月16日 至2015年10月15日

項目	第 150 期	第 151 期	第 152 期	第 153 期	第 154 期	第 155 期
(A) 配当等収益	3,165円	3,172円	3,034円	3,411円	3,002円	3,273円
受取利息	3,165	3,172	3,034	3,411	3,002	3,273
(B) 有価証券売買損益	408,373,314	△ 78,046,520	△ 404,531,034	77,194,714	△ 669,351,450	164,557,466
売買益	408,818,568	73,941	1,083,538	77,469,576	3,300,098	164,635,282
売買損	△ 445,254	△ 78,120,461	△ 405,614,572	△ 274,862	△ 672,651,548	△ 77,816
(C) 信託報酬等	△ 14,542,333	△ 15,216,038	△ 14,502,254	△ 15,554,650	△ 12,943,457	△ 13,106,295
(D) 当期損益(A+B+C)	393,834,146	△ 93,259,386	△ 419,030,254	61,643,475	△ 682,291,905	151,454,444
(E) 前期繰越損益金	571,295,657	859,132,062	657,262,472	131,460,349	86,867,389	△ 698,336,103
(F) 追加信託差損益金	△ 676,793,948	△ 672,847,581	△ 671,669,351	△ 670,618,939	△ 673,128,421	△ 675,893,198
(配当等相当額)	(1,563,685,983)	(1,606,466,176)	(1,642,294,714)	(1,652,291,717)	(1,662,516,948)	(1,667,863,312)
(売買損益相当額)	(△2,240,479,931)	(△2,279,313,757)	(△2,313,964,065)	(△2,322,910,656)	(△2,335,645,369)	(△2,343,756,510)
(G) 合計(D+E+F)	288,335,855	93,025,095	△ 433,437,133	△ 477,515,115	△ 1,268,552,937	△ 1,222,774,857
(H) 収益分配金	△ 103,902,933	△ 105,060,810	△ 105,869,580	△ 105,815,852	△ 105,891,205	△ 105,849,928
次期繰越損益金(G+H)	184,432,922	△ 12,035,715	△ 539,306,713	△ 583,330,967	△ 1,374,444,142	△ 1,328,624,785
追加信託差損益金	△ 676,793,948	△ 672,847,581	△ 671,669,351	△ 670,618,939	△ 673,128,421	△ 675,893,198
(配当等相当額)	(1,563,685,983)	(1,606,466,176)	(1,642,294,714)	(1,652,291,717)	(1,662,516,948)	(1,667,863,312)
(売買損益相当額)	(△2,240,479,931)	(△2,279,313,757)	(△2,313,964,065)	(△2,322,910,656)	(△2,335,645,369)	(△2,343,756,510)
分配準備積立金	1,855,634,320	1,781,986,499	1,701,878,419	1,626,147,478	1,541,592,940	1,468,725,073
繰越損益金	△ 994,407,450	△ 1,121,174,633	△ 1,569,515,781	△ 1,538,859,506	△ 2,242,908,661	△ 2,121,456,660

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第 150 期	第 151 期	第 152 期	第 153 期	第 154 期	第 155 期
(a) 経費控除後の配当等収益	47,674,278円	35,926,544円	35,333,023円	41,686,267円	29,171,971円	39,531,691円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	1,563,685,983	1,606,466,176	1,642,294,714	1,652,291,717	1,662,516,948	1,667,863,312
(d) 分配準備積立金	1,911,862,975	1,851,120,765	1,772,414,976	1,690,277,063	1,618,312,174	1,535,043,310
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	3,523,223,236	3,493,513,485	3,450,042,713	3,384,255,047	3,310,001,093	3,242,438,313
(f) 分配金	103,902,933	105,060,810	105,869,580	105,815,852	105,891,205	105,849,928
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	3,419,320,303	3,388,452,675	3,344,173,133	3,278,439,195	3,204,109,888	3,136,588,385
(h) 受益権総口数	12,987,866,719□	13,132,601,258□	13,233,697,576□	13,226,981,550□	13,236,400,743□	13,231,241,077□

ダイワ高格付豪ドル債オープン（毎月分配型）

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 150 期	第 151 期	第 152 期	第 153 期	第 154 期	第 155 期
1 万 口 当 り 分 配 金	80円	80円	80円	80円	80円	80円
(単 価)	(10,142円)	(9,991円)	(9,592円)	(9,559円)	(8,962円)	(8,996円)

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《訂正のお知らせ》

作成対象期間の末日が2015年4月15日の交付運用報告書および運用報告書（全体版）につきまして、「1万口当りの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えていただきますようお願い申し上げます。

「期中の平均基準価額（月末値の平均値）」は10,475円です。」

ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

運用報告書 第26期 (決算日 2015年10月15日)

(計算期間 2015年4月16日～2015年10月15日)

ダイワ高格付豪ドル債マザーファンドの第26期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	内外の公社債、ABS（アセットバック証券：各種の債権や商業用不動産などの資産を裏付けとして発行された証券）、MBS（モーゲージ担保証券：不動産担保融資の債権を裏付けとして発行された証券）および短期金融商品
運用方法	<p>①主として豪ドル建ての公社債、ABS、MBSなど（以下「公社債等」といいます。）およびコマーシャル・ペーパー等の短期金融商品に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>②豪ドル建ての公社債等への投資にあたっては、以下の観点からポートフォリオを構築し、運用を行ないます。</p> <p>イ. 各銘柄の格付けは、取得時においてAA格相当以上（S&PでAA-以上またはムーディーズでAa3以上もしくはフィッチでAA-以上）とすることを基本とします。</p> <p>ロ. 取得後、格付けの低下によってAA格相当以上でなくなった場合、委託会社の判断により当該銘柄を保有することもできますが、その範囲は、信託財産の純資産総額の10%程度を上限とします。</p> <p>ハ. 政府・州およびそれらの代理機関、国際機関等が発行・保証する公社債等を除き、一発行体当りの投資比率は、信託財産の純資産総額の10%程度を上限とします。</p> <p>ニ. ポートフォリオの修正デュレーションは、3（年）程度から5（年）程度の範囲とすることを基本とします。</p> <p>ホ. 金利リスク調整のため、豪ドル建ての国債先物取引等を利用することがあります。</p> <p>③為替については、豪ドル建資産の投資比率を信託財産の純資産総額の100%に近づけることを基本とします。</p> <p>④有価証券取引、為替・短期資金取引の相手方の選定は、委託会社の社内規則に則って行ないます。</p>
株式組入制限	純資産総額の10%以下

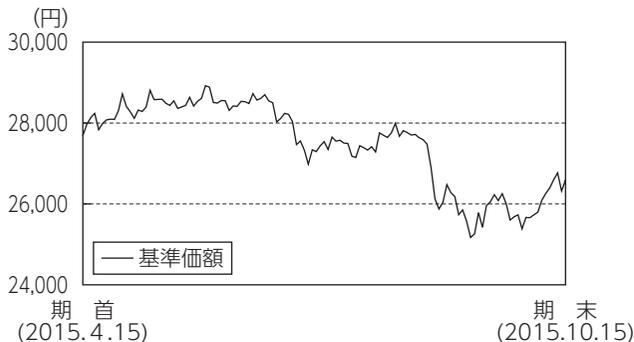
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基準 価 額		シティオーストラリア国債 インデックス (円換算)		公 社 債 債 券 組入比率	
	円	%	参考指数	%	%	%
(期首)2015年 4月15日	27,688	-	28,931	-	96.1	16.1
4 月 末	28,719	3.7	29,891	3.3	97.1	16.9
5 月 末	28,420	2.6	29,509	2.0	97.5	12.8
6 月 末	28,111	1.5	29,058	0.4	98.0	△ 4.8
7 月 末	27,332	△1.3	28,261	△2.3	97.4	△ 2.5
8 月 末	26,281	△5.1	27,221	△5.9	97.0	-
9 月 末	25,664	△7.3	26,656	△7.9	97.6	-
(期末)2015年10月15日	26,591	△4.0	27,626	△4.5	97.4	△11.4

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) シティオーストラリア国債インデックス (円換算) は、シティオーストラリア国債インデックス (豪ドルベース) のデータに基づき、円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。
 (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
 (注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。
 (注5) 債券先物比率は買建比率 - 売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：27,688円 期末：26,591円 騰落率：△4.0%

【基準価額の主な変動要因】

投資している豪ドルが円に対して下落したことが、基準価額の値下がり要因になりました。一方、投資している債券の利息収入は、基準価額の値下がりを抑える要因になりました。

◆投資環境について

○オーストラリア債券市況

オーストラリアの債券市況は金利上昇 (債券価格は下落) しました。

期首から2015年5月にかけてのオーストラリア債券市況は、米国の景気回復見通しの高まりやギリシャ情勢の緊張緩和から欧米の債券金利が上昇し、オーストラリアでも好調な雇用や高水準のインフレ指標が見られたこともあって、大きく金利上昇しました。しかしその後は、ギリシャ情勢懸念の再燃、米国の利上げに対する不透明感、新興国景気の先行き懸念、オーストラリアの利下げ観測などを背景に、金利は低下基調となりました。期末にかけては、リスク資産が反発したことなどを背景に、金利も再度上昇しました。この間、オーストラリアでは5月に利下げが行なわれ、政策金利は2.00%となりました。

○為替相場

豪ドルは対円で下落しました。

期首から2015年5月にかけて、中国の金融緩和措置を受けてアジア株式市況が堅調に推移する中、アジア各国の貿易相手であるオーストラリアには好材料と捉えられ、豪ドルは対円で底堅い動きとなりました。しかし6月下旬以降は、ギリシャ情勢懸念の再燃、原油や株式市況の下落、新興国景気の先行き懸念などを背景に、資本市場のリスク投資姿勢が消極化し、資源輸出国通貨売りもあって、豪ドルは対円で下落しました。期末にかけては、リスク資産が反発したことなどを背景に、豪ドルも上昇基調となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

豪ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの現状分析とそれらの見通しおよび金融市場動向を踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3 (年) 程度から5 (年) 程度の範囲内で変動させ、債券の種別構成や投資する債券の年限構成を決定します。為替については、豪ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

◆ポートフォリオについて

豪ドル建ての公社債等を高位に組入れ、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。金利変動リスクを表す修正デュレーションについては、3 (年) 程度から5 (年) 程度の範囲内で運用しました。金利が低下するとの見通しが強まった局面では、修正デュレーションを長期化した一方、金利が上昇するとの見通しが強まった局面では短期化するなど、経済動向や市場環境等を考慮して対応を行ないました。

為替に関しては、実質外貨比率を高位に保ちました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

豪ドル建ての公社債等に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。ファンドの運用につきましては、金融政策と経済ファンダメンタルズの現状分析とそれらの見通しおよび金融市場動向を踏まえ、金利変動リスクを表す修正デュレーションを3 (年) 程度から5 (年) 程度の範囲内で変動させ、債券の種別構成や投資する債券の年限構成を決定します。為替については、豪ドル建資産の投資比率を高位に保つ方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (先物)	2円 (2)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	5 (5)
(その他)	(0)
合 計	7

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2015年4月16日から2015年10月15日まで)

		買 付 額	売 付 額
外 国	オ ス ト ラ リ ア	国債証券 100,400	千オーストラリア・ドル 千オーストラリア・ドル 76,353 (—)
		特殊債券 87,740	137,497 (—)
		社債券 22,659	— (1,690)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 社債券には新株予約権付社債券(転換社債券)は含まれておりません。
(注4) 単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の種類別取引状況

(2015年4月16日から2015年10月15日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国	百万円	百万円	百万円	百万円
債券先物取引	7,123	12,382	14,313	12,936

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄
公 社 債

(2015年4月16日から2015年10月15日まで)

当			期		
買	付		売	付	
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア)	4.5% 2020/4/15	2,735,084	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア)	3.25% 2025/4/21	3,108,601
AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア)	3.25% 2018/10/21	2,499,168	TREASURY CORP VICTORIA (オーストラリア)	6% 2020/6/15	2,448,508
NEW SOUTH WALES TREASURY CORP. (オーストラリア)	6% 2020/5/1	2,184,822	NEW SOUTH WALES TREASURY CORP. (オーストラリア)	6% 2020/5/1	2,150,903
AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア)	5.75% 2022/7/15	2,008,568	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア)	6% 2017/2/15	1,471,134
NEW SOUTH WALES TREASURY CORP. (オーストラリア)	6% 2022/3/1	1,576,452	QUEENSLAND TREASURY CORP. (オーストラリア)	5.75% 2024/7/22	1,446,093
AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア)	3.25% 2025/4/21	1,457,665	QUEENSLAND TREASURY CORP. (オーストラリア)	6% 2022/7/21	1,297,814
QUEENSLAND TREASURY CORP. (オーストラリア)	6% 2022/7/21	1,350,872	NEW SOUTH WALES TREASURY CORP. (オーストラリア)	6% 2022/3/1	1,246,289
NEW SOUTH WALES TREASURY CORP. (オーストラリア)	5% 2024/8/20	1,256,615	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア)	3.25% 2018/10/21	1,225,777
RABOBANK NEDERLAND AU (オランダ)	7.25% 2018/4/20	1,059,080	WESTERN AUSTRALIAN TREASURY CORP. (オーストラリア)	7% 2021/7/15	1,155,788
KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU (ドイツ)	2.75% 2020/4/16	901,596	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND (オーストラリア)	5.75% 2022/7/15	1,150,895

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
(注2) 単位未満は切捨て。

ダイワ高格付豪ドル債マザーファンド

■組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額 面 金 額	当 期				末		
		評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 224,715	千オーストラリア・ドル 247,624	千円 21,550,791	% 97.4	% -	% 39.6	% 45.1	% 12.6

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	末			償 還 年 月 日
					評 価 額		償 還 年 月 日	
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
オーストラリア	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国 債 証 券	6.0000	% 9,000	千オーストラリア・ドル 9,494	千円 826,287	2017/02/15	
	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国 債 証 券	5.7500	20,000	23,766	2,068,354	2021/05/15	
	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国 債 証 券	4.5000	28,000	31,027	2,700,286	2020/04/15	
	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国 債 証 券	5.7500	7,000	8,498	739,629	2022/07/15	
	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国 債 証 券	3.2500	5,000	5,274	459,070	2025/04/21	
	AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国 債 証 券	3.2500	12,000	12,506	1,088,400	2018/10/21	
	LANDWIRTSCHAFT RENTENBANK	特 殊 債 券	5.5000	5,000	5,761	501,462	2022/03/29	
	KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU	特 殊 債 券	2.7500	15,000	15,092	1,313,517	2020/04/16	
	Airservices Australia	特 殊 債 券	4.7500	4,400	4,775	415,576	2020/11/19	
	WESTERN AUSTRALIAN TREASURY CORP.	特 殊 債 券	7.0000	10,000	11,777	1,025,021	2019/10/15	
	NEW SOUTH WALES TREASURY CORP.	特 殊 債 券	6.0000	3,000	3,609	314,125	2022/03/01	
	NEW SOUTH WALES TREASURY CORP.	特 殊 債 券	5.0000	12,000	14,022	1,220,376	2024/08/20	
	QUEENSLAND TREASURY CORP.	特 殊 債 券	6.2500	10,000	11,583	1,008,138	2020/02/21	
	QUEENSLAND TREASURY CORP.	特 殊 債 券	5.7500	7,000	8,420	732,873	2024/07/22	
	Australian Rail Track Corp Ltd	特 殊 債 券	3.7500	2,500	2,513	218,752	2016/04/29	
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特 殊 債 券	4.7500	9,500	10,617	924,006	2024/08/07	
	EUROFIMA	特 殊 債 券	6.2500	3,000	3,345	291,175	2018/12/28	
	NORDIC INVESTMENT BK.	特 殊 債 券	5.0000	5,000	5,627	489,770	2022/04/19	
	COUNCIL OF EUROPE	特 殊 債 券	6.0000	1,065	1,221	106,300	2020/10/08	
	AFRICAN DEVELOPMENT BK.	特 殊 債 券	2.7500	10,000	10,044	874,155	2020/02/03	
	BNZ International Funding Ltd/London	社 債 券	6.2500	10,000	10,253	892,344	2016/06/14	
	University of Sydney	社 債 券	3.7500	6,000	5,992	521,532	2025/08/28	
	GE Capital Australia Funding Pty Ltd	社 債 券	5.2500	540	565	49,181	2017/08/23	
	RABOBANK NEDERLAND AU	社 債 券	7.2500	10,000	11,061	962,691	2018/04/20	
	Stadshypotek AB	社 債 券	4.2500	3,000	3,089	268,870	2017/10/10	
	University Of Melbourne	社 債 券	4.2500	4,210	4,473	389,318	2021/06/30	
	National Australia Bank Ltd	社 債 券	7.2500	5,000	5,540	482,228	2018/03/07	
	AUST & NZ BANK	社 債 券	5.2500	2,000	2,025	176,261	2016/03/23	
AUST & NZ BANK	社 債 券	6.7500	4,000	4,099	356,770	2016/05/09		
Suncorp-Metway Ltd	社 債 券	4.0000	1,500	1,543	134,308	2017/11/09		
合 計	銘 柄 数 金 額	30銘柄		224,715	247,624	21,550,791		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(3) 先物取引の銘柄別期末残高 (評価額)

銘柄別	当 期 末	
	買 建 額	売 建 額
外 国	百万円	百万円
A-BOND (10YR)(オーストラリア)	-	563
A-BOND (3YR)(オーストラリア)	-	1,954

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年10月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 21,550,791	% 96.9
コール・ローン等、その他	690,001	3.1
投資信託財産総額	22,240,792	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月15日における邦貨換算レートは、1 オーストラリア・ドル=87.03円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産 (22,085,185千円) の投資信託財産総額 (22,240,792千円) に対する比率は、99.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年10月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	22,240,792,428円
コール・ローン等	247,142,667
公社債(評価額)	21,550,791,147
未収利息	275,850,363
前払費用	48,867,345
差入委託証拠金	118,140,906
(B) 負債	106,425,392
未払金	3,503,392
未払解約金	102,922,000
(C) 純資産総額(A - B)	22,134,367,036
元本	8,324,069,507
次期繰越損益金	13,810,297,529
(D) 受益権総口数	8,324,069,507口
1万口当り基準価額(C / D)	26,591円

* 期首における元本額は8,803,710,457円、当期中における追加設定元本額は160,591,354円、同解約元本額は640,232,304円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ世界債券ファンドM (FOFs用) (適格機関投資家専用) 92,885,474円、常陽3分法ファンド114,161,299円、ダイワ世界債券ファンドVA (適格機関投資家専用) 37,720,626円、ダイワ世界債券ファンド (毎月分配型) 3,568,268,362円、ダイワ世界債券ファンド (年2回決算型) 7,660,560円、ダイワ高格付3通貨債券ファンド (毎月分配型) 37,961,373円、ダイワ高格付豪ドル債オープン (毎月分配型) 4,465,411,813円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は26,591円です。

■損益の状況

当期 自2015年4月16日 至2015年10月15日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	515,845,691円
受取利息	515,536,994
その他収益金	308,697
(B) 有価証券売買損益	△ 1,438,598,618
売買益	121,521,179
売買損	△ 1,560,119,797
(C) 先物取引等損益	316,450
取引益	89,093,220
取引損	△ 88,776,770
(D) その他費用	△ 4,536,284
(E) 当期損益金(A + B + C + D)	△ 926,972,761
(F) 前期繰越損益金	15,571,705,340
(G) 解約差損益金	△ 1,127,177,696
(H) 追加信託差損益金	292,742,646
(I) 合計(E + F + G + H)	13,810,297,529
次期繰越損益金(I)	13,810,297,529

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。